



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：ともに、光の中を歩もう Henry Grindheim (ノルウェー)
 アジア太平洋会長主題：ワイズ運動を尊重しよう Tung Ming Hsiao (台湾)
 東日本区理事主題：広げよう ワイズの仲間 栗本 治郎 (熱海)
 あずさ部長主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう 大野 貞次 (東京西)
 甲府クラブ会長主題：みんなで協力、楽しく一緒にワイズ活動 丹後 佳代

甲府ワイズメンズクラブ
2017 10月会報
 ●今月の強調目標
 (EMC/E・YES)

■今月のことば■

「たとえ明日、世界が滅亡しようとも、今日、私はリンゴの木を植える。」 マルティン・ルター
 荒川 洋一 会員選

今月の例会案内

「みんなで協力、楽しく一緒にワイズ活動」
 クラブサービス企画第2弾

移動例会 東山荘

日時：2017年10月14日(土)
 山梨YMCA集合・出発10:00
 (YMCAマイクロバス借用)
 会場：神奈川県御殿場「YMCA東山荘」
 担当：クラブサービス委員会

スケジュール

- ・例会 (YMCA東山荘にて) 12:05～
- ・昼食 (YMCA東山荘にて)
- ・講演「YMCA東山荘の歴史」
 講師：堀口東山荘所長
- ・YMCA東山荘見学
- ・秩父宮記念館見学
- ・甲府到着 17:30 (予定)

■今月のことば■

どんな宗教であれ、人間として最も大事な考え方、姿勢だと思いましたので、今月のことばに選びました。(荒川 洋一)

9月のデータ

会員数	35名	例会出席	23名
ゲスト	6名	出席率	66%
榎本 博 様	伊東クラブ (講師)		
前原 未子 様	御殿場クラブ (講師)		
牛田 俊夫 様	伊東クラブ会計		
久保田 康正 様	伊東クラブ富士山部会員増強事業主査		
大和田 浩二 様	御殿場クラブ会長		
金子 京子 様	御殿場クラブ富士山部地域奉仕主査		

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

「人に伝えるということ」

会長 丹後 佳代

急に寒くなってきましたね。皆さん、体調はいかがですか？

私は9月下旬から10月の初旬まで2週間ほど風邪を引き喉が痛く、体がだるい日が続きました。昼は暖かく、夜と朝は寒いので、そのせいだったように思います。

人に物事を伝えるのはとても難しいことだと思います。人は伝えることばかりに気を取られ、相手にどう伝わっているのかをあまり考えずに話し続けてしまうことがあります。伝えることに必死になり、多くの言葉で、多くのことを伝えようとするあまり、相手がどの程度理解しているのかを確認せずにいることがあります。そのことで、誤解を招くことも多々あります。

コミュニケーションは相手にどう伝えるかも必要ですが、相手にどう伝わっているのかを確認することも必要です。そのためにも相手の様子を気にする事も必要です。例会などでも皆さんと話をするときに、気をつけていきたいと思っています。また、より多くの人たちとコミュニケーションを取ることによって、相手にどう伝わっているのかを見られるような感性も身につけていきたいと思っています。

9月例会では会員増強のヒントになるお話を聞くことができ、とても参考になりました。これからの会員増強活動に生かしていきたいと思っています。ワイズ活動の素晴らしさを、私の周りの人たちに上手に伝えられるようにしていきたいです。

9月例会報告

9月12日（火）ホテル談露館で定刻より開催されました。担当は会員増強委員会、司会は二子石会員。

丹後会長の伊東クラブ3名、御殿場クラブ3名のゲスト紹介の後、会長の挨拶では、管理職の部下への教育を指導するご自身の仕事の経験を通じ、判っているだろうと思っけていても人それぞれの理解が違っていて問題が起きる、クラブ内でもっとコミュニケーションをとることが必要である。また先月の野外例会は花火を見ながら会員同士の話も弾み、“一緒に取り組む”良い機会となったとのお話がありました。



インビテーションキャンペーンが続いていますからイベントや例会に友人を呼んで欲しいとの呼びかけがありました。今月の言葉は丸茂会員が選んだ、海軍兵学校訓戒「五省」を田草川会員が朗読。田草川会員のお祈りは、皆で例会ができることに感謝、遠くから来ている人、欠席されている人、皆の健康を願い、次は出席できるように、今日が良き交わりの時になるように、心のこもったお祈りに感動しました。



ワイズディナーの後、進行を仙洞田会員にバトンタッチ、今日のメインテーマの会員増強アワーが始まりました。まず東日本区会員増強事業主任の榎本博さん（伊東ク）の卓話。個人ブースター賞（1年に3人以上の会員を入会させた）を受賞しているEMCのスペシャリスト。会員増強計画ワークシート（アンケート）は、その結果を指針として継続的にやって欲しい、クラブにはリーダーが必要、メンバー一人一人がリーダーになってクラブの活動を円滑にする。会員増強がキーワード、一人一人が会員増強を推進する。自分たちが好きな魅力あるクラブにならなければ会員は増えない、例会やイベントの見学で入会を勧める、クラブの質の向上、強みや特徴を生かす。会員である以上責任がある、会員増強はやる気、一番の目標を会員増強にして欲しい。続いて東日本区地域奉仕事業主任の前原末子さん（御殿場ク）の卓話、大月市出身。御殿場クラブは会員の三分の二が女性、女性をターゲットにする。女性が入会するには男性の協力が必要、ジャンパーの色を派手な色にしワイズメンズクラブが知られるようになった、今高齢者の施設を回っている、続けることが一番大事、信頼関係が必要とのお話がありました。アンケートに対する意見交換では、行事をやって楽しければメンバーは増えていく、あずさ部も会員をもっと増やして欲しい（久保田富士山部会員増強事業主査、伊東ク）、アンケートは意識付けをしたかった、伊東クラブの会員に対する研修会の説明、年7回卓話例会をやっている（榎本、伊東ク）等々の話が出ました。8月・9月と2ヶ月まとめたのバースデープレゼン



トとアニバーサリー報告、諸報告では秋山クラブ・サービスプログラム委員長より10月の移動例会の案内、露木山梨YMCA総主事よりバザーへの協力をお願いがありました。今日のニコニコ募金は九州北部豪雨緊急募金に寄付することになりました。YMCAの歌に続いて閉会点鐘、例会は定刻に終わりました。お二人の卓話は大変説得力があり、会員減少に直面している甲府クラブにとって大変刺激になり、改めて会員増強の大切さを実感した非常に有意義な例会でした。（廣瀬 静男）

9月役員会報告

日時：2017年9月26日（火）18：30～20：00

場所：山梨YMCA 2F

出席者：丹後・渡辺・ピーターM・標・小倉・仙洞田・荒川・石川（和）・秋山

報告

❖9月例会 9月12日（火）会員増強アワー。出席者23名（66%）、ゲスト6名：榎本博（伊）前原末子東（御）講師＋牛田俊夫（伊）久保田康正（伊）大和田浩二（御）金子京子（御）。例会の感想としては会員増強とクラブ活性化に関して多岐に渡る討議がなされた。日曜日の活動・集い、年齢層に対するプログラムなどは現状の脱皮に提案された。

❖小倉会計より：あずさ部部費35×4,010計¥140,350と九州北部豪雨緊急支援金¥20,000（例会で集まった¥20,000）が振り込み済。

❖石川（和）は交流の機に渡す甲府クラブペナントの完成品を公開した。2000本×¥1550＋消費税＝¥167,400が基金に頼む。

協議事項

❖10月移動例会：10月14日（土）御殿場のYMCA東山荘。昼食代金およそ¥700は出席者の自費となる。交通手段を決めるため、全ての会員から出欠の返事をもらう。

❖11月例会案：荒川会員より卓話例会として11月14日（火）談露館で行う案がだされた。講師：松本公夫。10月役員会でプログラム詳細を提出。

その他

❖11月3日（金）YMCAバザー：献品募集が始まった。甲府クラブは募集担当で会員の協力を期待。

❖9月5日（火）次期役員先行委員会は委員の都合により開催できなかった。次の委員会は10月3（火）に予定されている。

❖10月役員会は10月24日（火）18：30～山梨YMCA



甲府ワイズ会員投稿



「私の好きな言葉」

秋山 仁博

私が、社会人になったばかりの頃は、先輩諸兄より「オアシス運動」を大事に下さいよ、とよく言われた事を思い出します。皆様もご存知の通り「おはよう・ありがとう・失礼します・すみません」の言葉の頭を取って付けられた言葉で、大きな声ではっきりと、心を込めて話しましょうと言われました。

年齢を重ねるに連れてつい忘れがちになってしまいますが、先日、同じ様に、言葉の先頭語を重ねて「か・き・く・け・こ」が現代社会の中で、周りの人たちと共に生きる上において、非常に大事だとの言葉を聞きました。そんな訳で、一人でも多くの方にその意味を知って頂きたい思いで、今回「私の好きな言葉」に選ばして頂きました。その内容は「感謝の気持・協調と協力の気持・工夫をして前向きな気持・謙虚さを常に忘れない気持・困った時は素直に相談する気持」の五つの信条です。会社を経営している我が身に返してみると、お客様にはもちろん、仕入れ先の担当者、社内の同僚との付き合いにも、まさに当てはまる言葉、であり、心の置きどころだと思いました。少なくとも自分の家族を初め多くの人々に対して、常に「か・き・く・け・こ」の気持ちを、今後も持ち続けたいと思います。

「Yと歩んで70年」

石原 祥平

私は危篤状態を数回乗り越え、今生かされて今年85才になった。

YMCA との係りは、甲府中学1年の時に始まる。当時校長は、クリスチャンの近藤兵庫先生であった。先生は戦後の混乱のこの時代に賀川豊彦氏を招いて講演会を開き、その講演を聴いた大勢の学生が感動しハイY運動を作るきっかけとなった。これからの新しい日本を作っていく為に、若者が進んで奉仕活動に参加し活動して行こうと呼びかけ、私も心躍る思いで加わった。酪農開拓団や戦争孤児施設のワークキャンプ等、私の精神面での成長の時だったように思う。その頃からキリスト教を深く学びたいと思うようになり、ミッションスクールの青山学院の男子高等部に編入した。大学卒業するまで、青山で充実した学生生活を送ることができた。

大学3年の時、山梨 YMCA の推薦を受け日本 YMCA 青少年交換会の日本代表の1人として、8名の仲間と渡米することになった。その頃渡米は、まだ珍しく出発時には甲府駅に天野久知事が見送りに来て下さった。

大学を卒業してから YMCA の夏休みプログラムで小中学生に英語を教えたこともあった。父が甲府 Y's を退会して代わって私が入会しワイズ歴50年近くになる。その間、YMCA 理事長や日本 YMCA 同盟監事等させて頂き、ご奉仕できたことは、誠に感謝である。

「夕張財政破たん問題を読み解く～人口減少のインパクト」 神山 玄太

私は好きなことを仕事としてさせていただいていますので、ここでは「まちづくり」の話を書かせていただこうと思います。

標準財政規模の801.4%にも膨らんだ財政赤字を抱え、夕張市が財政破たんしてから約10年。この夏、夕張市に調査のために行ってきました。まさか自治体が財政破たんするなんて、と思っている方も多いかも知れません。夕張市が財政破たんするほどに財政運営できない状況に陥ってしまったのは、実は人口減少が一番の原因です。

かつての夕張市は炭鉱が盛んで、多いときで人口は10万人を超えていました。しかしエネルギー

政策が転換されていったことで炭鉱はどんどん閉山され、人口は1万人台にまで減少、行政経営がままならなくなってしまいました。

夕張市は人口が減っていくことがわかった時点で、将来のために何をすべきだったのか。いま日本全体で人口減少が進んでいる中、それぞれの地方自治体は、将来を考え、そして行動していかなければなりません。

夕張市の調査から、人口が減っても行政経営を続けるため、効率的に、また経済活動が活発になるように、コンパクトなまちづくりを目指していくべきだと強く再認識しました。

ニコニコメッセージ

9月例会

- 甲府クラブの皆さんと会員増強に限ったことなく、ワイズ談義的ディスカッションなどを行いたいと思いました。また機会がありましたら一会員として誘って頂きたく思います。(伊東・榎本博)
- 甲府クラブ9月例会に参加させていただき、ありがとうございます。ぜひ伊東クラブへもお出かけ下さい。(伊東・久保田康正)
- 今日は好きなように喋らせて頂き感謝しております。東山荘に来て頂けるようですので、会員皆楽しみにしております。(御殿場・前原末子)
- 甲府クラブの例会に久しぶりに参加でき、大変うれしく思いました。まだしばらく御殿場と関わっておりますが、どうか今後ともよろしく願います。(御殿場・大和田浩二)
- 甲府クラブの例会は初めての参加です。御殿場の例会も比較的静かです。伊東の例会には何回か初例会などに出席しましたが、「元気」「賑やか」「活気があり」と羨ましい限りです。御殿場も元気なクラブにしたいと思いました。
(御殿場・金光京子)
- 富士山部(伊東クラブ・御殿場クラブ)より6名をお迎えしての会員増強アワーで、卓話をいただき感謝します。(二子石た宣秀)
- 伊東クラブ・御殿場クラブの皆様貴重なご意見ありがとうございます。甲府クラブの会員増強にきっと役立つと思います。(K.S)
- 暑さも通り過ぎ、仕事にワイズに良い季節となりました。益々の皆様のご活躍を期待します。(T.W)
- 被災の方々にお見舞い申し上げます。

(大澤英二)

10月 Happy Birthday

メ	ン	丹後佳代(2日)	露木淳司(2日)
		中澤文雄(6日)	大澤英二(14日)
		鶴田一郎(14日)	済本文雄(27日)
メ	ネット	丸茂宣恩(6日)	小倉香苗(11日)
		石原靖子(17日)	石川てる子(和)(17日)

9月 Wedding Anniversary

標 克明 ♡ 恭子(2日)	廣瀬静男 ♡ 昌子(2日)
荒川洋一 ♡ 宏枝(3日)	丹後佳代 ♡ 内田和俊(10日)
鶴田一郎 ♡ 美恵子(14日)	北条繁寿 ♡ 順子(19日)

山梨YMCAだより

ポジティブYに願いを込めて

山梨YMCA総主事 露木 淳司

10月1日より、YMCAのロゴマークが一新され、全国一斉に使用開始となりました。

シンボルとなっている赤いYの文字のマークは「ポジティブY」という愛称を持ち、鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフにしています。一人ひとりの生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への思いを表現しています。

右上の顔の部分の逆三角形はSpirit Mind Bodyを意味する変わることのないYMCAの精神が内包されており、新しくYMCAが提供する「みつかる」「つながる」「よくなっていく」という3つのバリューとの融合を図ります。柔らかな曲線と鮮やかなレッドによって、生命の息づかいと、YMCAの希望ある豊かな社会が実現される印象を感じさせます。



はじめは違和感を覚える人もいるかも知れません。今までの方が良かったと思う人も多いことでしょう。でも、このマークが誕生した背景には、日本全国のYMCAにおけるモニタリングを下に膨大な議論と研究がなされ、専門家の意見を聞きつくす「ブランディング」という気の遠くなるような作業を必要としました。どうぞ一緒にこのマークの行く末を見守っていただけませんか。

そして、私たちの山梨YMCAは、マークだけでなく2020年の新会館オープンを目指して、施設も事業内容も大きく生まれ変わろうとしています。21年の75周年は新会館で迎えよう、と準備が着々と進められているのです。この瞬間を皆様と共に迎えることのできる偶然を喜びたいと思います。

乳幼児も青少年も、高齢者も障がい者も、外国籍市民も・・・、山梨、長野に暮らす全ての人々と連携しながら、YMCA for All による地域共生社会を実現しましょう！

これからの行事予定

10月24日(火) 18:30～甲府クラブ役員会
11月3日(土) 山梨YMCAバザー
11月14日(火) 11月例会 ホテル談露館